

4 情報科目

授業の概要

パソコン等を取り扱う能力だけでなく、事象を的確に認識すると共に課題を発見し、その解決にICT（Information and Communication Technology）を活用する能力の育成を目指す。

前期に、全員が必修となる「情報リテラシー実践Ⅰ」を提供する。ツールとしてICTを活用し、具体的な課題の解決に取り組む。学部・系・コースによっては、表計算ソフトウェアの発展的利用として、基礎的な統計処理に取り組む「情報リテラシー実践ⅠA」や、基礎的なプログラミングに取り組む「情報リテラシー実践ⅠB」を指定することがある。（情報リテラシー実践Ⅰ、ⅠA、ⅠBのうち、学部・系・コースが指定する一科目が必修科目であり、その他の二科目は履修することができない。）

後期に、「情報リテラシー実践Ⅰ」で習得したICT活用の基礎的理解や技能を、実践的な課題の解決に応用する「情報リテラシー実践ⅡA」、「情報リテラシー実践ⅡB」、「情報リテラシー実践ⅡC」を提供する。これらの科目は選択科目である。

○「情報リテラシー実践Ⅰ」（前期 2単位 必修）

ツールとしてICTを活用し、情報の収集、分析、編集、発信、コミュニケーションといった情報処理に関わる能力の向上を目指す。アプリケーションの使い方を学ぶだけでなく、具体的な問題解決を行う。

○「情報リテラシー実践ⅠA」（前期 2単位 必修）

基本的な情報活用能力に係る知識、技能を習得すると共に、表計算ソフトウェアの発展的利用として、基礎的な統計処理を含む問題解決に取り組む。

○「情報リテラシー実践ⅠB」（前期 2単位 必修）

基本的な情報活用能力に係る知識、技能を習得すると共に、表計算ソフトウェアの発展的利用として、プログラミングによる数理科学的な課題の解決に取り組む。

○「情報リテラシー実践ⅡA」（後期 2単位 選択）

コンピュータを用いた統計処理の基礎的知識とデータの処理手法、そして、データベースについての基礎的知識とデータの処理手法について学ぶ。また、実践的な課題を通して、統計処理とデータベースの活用に取り組む。

○「情報リテラシー実践ⅡB」（後期 2単位 選択）

計算機科学やアルゴリズムなどプログラミングに関しての基礎的知識を学ぶと共に、実際にプログラムを作成することを通して数理科学的な問題解決に取り組む。

○「情報リテラシー実践ⅡC」（後期 2単位 選択）

画像と音のデジタル化の原理を知り、コンピュータ上での画像の扱い方の基礎、音の処理方法の基礎について学ぶ。

履修申請方法

前期の「情報リテラシー実践Ⅰ（又はⅠＡ、ⅠＢ）」は、全員が履修する科目である。再履修を除いて、履修申請の必要はない。再履修クラスの申請時期・方法については、掲示を確認すること。

後期の「情報リテラシー実践ⅡＡ」、「情報リテラシー実践ⅡＢ」、「情報リテラシー実践ⅡＣ」については、選択科目なので履修申請の手続きが必要となる。申請時期・方法については、掲示を確認すること。

クラス編成

「情報リテラシー実践Ⅰ（またはⅠＡ、ⅠＢ）」は、全員が履修する科目であり、再履修クラスを除き、学部・系やコース別のクラス編成となる。新入生の指定クラスについては、授業開始前に掲示する。

情報リテラシー実践Ⅰ クラス編成表

| 対象学部・系 | クラス番号 | 授業科目 |
|------------|---------|----------|
| 人文・社会系 | 10番台 | Ⅰ |
| 法学系 | 20番台 | Ⅰ |
| 経営学系 | 30番台 | ⅠＡ |
| 理工学系 | 40番台 | Ⅰ |
| 都市環境学部 | 50番台 | Ⅰ |
| システムデザイン学部 | 60番台 | Ⅰ |
| 健康福祉学部 | 70番台 | Ⅰ（看護はⅠＡ） |
| 再履修クラス（※） | 80・90番台 | Ⅰ |

※学部・系ごとのクラス指定なし

後期の「情報リテラシー実践ⅡＡ」、「情報リテラシー実践ⅡＢ」、「情報リテラシー実践ⅡＣ」については、選択科目なので、学部・系やコース別のクラス編成は行わない。